

博士課程教育リーディングプログラム現地視察報告書(平成28年度)

博士課程教育リーディングプログラム委員会

機関名	秋田大学	整理番号	001
プログラム名称	レアメタル等資源ニューフロンティアリーダー養成プログラム		
プログラム責任者	小川 信明	プログラム コーディネーター	柴山 敦
<p>1. 進捗状況概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた教員による積極的な事業推進の姿勢は評価できるが、学長の交代等により、申請当初の勢いは薄れ、全学を挙げて本プログラムの主旨に合致した積極性が衰退した感は否めない。例えば、山形大学等との連携を模索するなどの一層の努力が求められる。 プログラムの現状と運営組織体制については、平成 27 年度までの工学資源学研究科を改組し、平成 28 年度から国際資源学研究科を新設し、本プログラムを着実に遂行しようとする方針は評価したい。 中間評価でも述べたが、グローバルリーダーを養成する学位プログラムの確立についても、資源学に対する 5 年一貫制のプログラム編成に加え、学位の質保証システムの導入等に対しては評価できる。また、資源探査等に対するデータベースの蓄積など、我が国の国益に資する研究環境も整いつつあることは極めて好ましい状況である。 <p>2. 意見（改善を要する点、実施した助言等）</p> <ul style="list-style-type: none"> 優秀な学生の獲得に対しては、努力の様相は理解できるが、定員を満たしておらず、また、日本人学生の割合が極めて低い。日本人学生の獲得のさらなる努力が求められる。 大学としては巨額な国費が導入されているため、多くの関連教員による運営に心がけ、学長主導の全学体制による積極的推進に向け、一層強固な推進戦略体制の構築が不可欠である。 最終的には本支援期間終了後の継続性が極めて重要であり、より積極的に民間とのマッチングファンドを確立することを強く期待したい。 			